

■(仮称)鎌倉景観デザインセンター設置のご提案

- ・ 市の建築・造成に係わる各担当課の行政委託型等法人として設置。
 - ・ 市内にて建築・造成を行おうとする市民・事業者と行政との仲立ちをし、鎌倉らしい景観の街づくりをサポート・実行する。又、景観重要建築物等の維持・管理・修繕等の技術的・経済的な助成や買取り・仲介・斡旋を行い、喪失を防ぐ。そして、フィルムコミッション事業等で、鎌倉の魅力を市民と共有し、更に世界に伝える事を目的とする。
 - ・ 景観コンサルタント、景観ディレクター、景観プロデューサー的な組織とする。
 - ・ 市内において建築・造成する場合、基本設計の早期段階にて、個別相談の義務化。
 - ・ 確認申請において、景観デザインセンターの認証が必要とする。
 - ・ 建築・造成を行おうとする市民・事業者に対し、以下のサービスを提供する。
 - 鎌倉の街づくりのコンセプトやルールを広報する。
 - 建築主・施工者向けのセミナーを、定期的に開催する。
 - 建築・造成する土地に関する資料・情報を提供する。
 - 該当の土地に関する、固有のルールを説明し理解を得る。
 - 該当の土地に対する、市の考え方を提案する。
 - 依頼があれば、設計・デザインの代行・請負をする。(有償)
 - 市民・事業者の相談や提案を承り、検証し、認証する。必要があれば、行政と交渉する。
 - 鎌倉の街を、学術的に調査・研究する。
 - 上記調査・研究に基づき、街づくりのルールの詳細を作成する。
 - ルールに基づいた実例や具体的なサンプルの検証・紹介・アドバイスをする。
 - 指定(推奨)素材を使用したデザイン・パターンの研究・開発・提案をする。
 - 指定(推奨)建築素材等の展示や販売受付。
 - 既存メーカー製品を、大量買付け(契約)にて低価格で施工者に提供。
 - 鎌倉市推奨というお墨付きを得る事は、メーカーにとっても有益なことであり、その点からも十分に価格交渉する余地があると思われる。
 - 特価販売数量は建築確認申請の範囲内とする。(転売防止のため)
 - 鎌倉独自の指定(推奨)建築素材やシステムの研究・開発・販売。
 - 市内(外)の事業者(メーカー)と共同開発・製造・販売。
 - 市内の施工事業者へは、優遇価格にて販売。
 - 市外への販売は、利益上乗せの正価にて販売。
 - 市内の古建築解体で発生する貴重な廃材(古材)の転用・再生やストックのネットワークづくり。
 - ストックした古材のみの販売。
 - 古材を再生したオリジナル商品の開発・製造・販売。
 - 建具や家具・民具等の再生・販売。
 - 市内の山林管理で発生する間伐材の利用など。
 - 鎌倉景観デザインセンター仕様のモデルハウスの研究・開発・販売。
 - 設計、設計監理の請負(有償)
 - “古都の家”としてハウスメーカーとの共同開発の可能性。
- ・ 鎌倉市の景観デザインのルールを熟知した建築家・施工者の紹介。
 - ・ 市内公共施設の建築に当たっての設計コンペティションを、企画・主催。

- ・ 景観重要建築物の維持・管理・修繕等の助成及び技術的援助。
- ・ 景観重要建築物や重要緑地の買取りや仲介・斡旋業務。

- ・ 景観が乱されていないかの監視・摘発・指導（景観Gメン）

- ・ フィルムコミッション事業
 - フィルムコミッションとは
 - 映画、テレビドラマ、CMなどのロケ撮影を誘致する。
 - 撮影に必要なさまざまな手続きを、映像製作者と行政や企業など関連機関との間に立ってスムーズに進めるための様々な支援を行う。
 - フィルムコミッションのメリット
 - 情報発信のルートが増える。
 - 撮影隊が支払う「直接的経済効果」が見込まれる。
 - 作品（映画・ドラマ）を通じて観光客が増え、観光客が支払う「間接的経済効果」が見込まれる。
 - 映像制作に関わることを通じて、地域文化の創造や向上につながる。

 - この事業の目的は、鎌倉の景観が美しく整っていく喜びと、我が街・鎌倉は素晴らしいんだという誇りを、市民全員で共有することにある。
 - 様々なロケに使われることにより、鎌倉景観デザインの変遷の記録だけでなく、喪失を防げなかった建物や景観の記録にもなると思われる。
 - 景観重要建築物等の使用に当たっての使用料などが、維持管理修繕等の資金に見込める。

- ・ 収益は、景観デザインセンターの運営と、景観重要建築物の維持・管理・修繕等の助成及び、買取り等に充当する

■市内の職人の起用のご提案

- ・日本の街づくり、建築を創造してきたのは、現在の建築家的職能を持った大工や庭師等の職人であったと思います。
- ・大多数の住宅においては、近年まで同じであり、それは、その職人たちが、現在の街並みを作り上げたといっても過言ではないと思います。
- ・その彼らが作り上げた街並みを、今、継承しようとしている現場に、彼らの意見や意思が汲み入れられずにいることを、不思議に思います。
- ・鎌倉には、今も、優秀な尊敬すべき職人の方が大勢いらっしゃいます。彼らの知識と力を導入しない手は無いと思います。
- ・市内の建築物の全てに、何らかの形で彼らの手が入るとなれば、奇抜さや周囲から浮いたものも無くなり、しつとりと街に馴染むような景観が創られるのではないのでしょうか。
- ・それはまた、地元の職人に仕事が行き渡ることでもあり、経済的にも潤いを与え、地元の市民との交流も増え、街が活性化する1つの切っ掛けとなると思います。
- ・職人の言葉には、設計者の言葉以上に説得力があるものです。設計者も、実際に手を動かしモノを作っている職人の意見には耳を傾けざるおえない事は、多々あるものです。

■市内で鎌倉らしい建築・風景を創っている専門家を探すぐ提案

- ・単純な事です。
- ・タウンウォッチをし、心に留まる建築や垣根などを見つけ、その施主に教えて頂いたりして、それを設計・施工した人を見つけるのです。
- ・その方に、鎌倉の景観づくりのアドバイスを頂く。
- ・上記「鎌倉景観デザインセンター」のスタッフ／アドバイザーになって頂く。
- ・学歴や経歴など関係なく、実力／実績と、鎌倉市の考える景観デザインに協調できることが重要。
- ・もちろん、市民からの推薦もあるでしょう。
- ・鎌倉に在住の方であつたら申し分ないですが、遠方の方よりは、鎌倉の近くで生活されている方が理想。

■ホームページの充実のご提案

- ・今更、言うまでも無く、手軽にいつでも情報を入手できる時代になり、なんでもネットで情報を得ようとする時代でもあります。
- ・建築設計の現場でも、それは顕著ですから、行政が提供できる資料・情報は、ホームページにて全て入手できる様にして頂きたい。
- ・それは、市役所に足を運ぶ事の少ない一般の市民の方にとっても、有益な情報であり、効果的な広報ではないかと思えます。
- ・その際、事務的なものではなく、親しみやすいデザインである必要があるかと思えます。

■最後に：先走る様ですが、センターの立地についてのご提案

- ・ センターの業務上、確認申請業務を行っている市役所周辺が適しているかもしれませんが、鎌倉風致保存会の様に、景観重要建築物の利用も良いと思います。
- ・ しかし、上記提案業務を全て行った場合、建築素材の展示だけでも、それなりのスペースが必要ですし、フィルムコミッション事業のプレゼンテーション・スペースは、観光案内センター機能も持たす事ができると思いますので、駅近くで、やはり広いスペースが必要だと思われます。
- ・ 可能性は低いかもしれませんが、鶴岡八幡宮が返還を求めている県立近代美術館は、立地・スペース共に適しているかと思います。1階ピロティ部分を、オープンにし、鎌倉観光のターミナル機能とフィルムコミッション事業の核とします。増築部分を、建築素材やモデルケースの展示棟に、本館2階を、センターの事務スペースにします。大型バスの駐車場も近くに集中していますから、観光客のターミナルとしては、魅力です。八幡様からJR鎌倉駅を結ぶ線上に小町通り・若宮大路の商業施設が並び、駅からの客も、バスからの客も、往復の購買チャンスが生じます。
- ・ もう一つは、野村総合研究所跡地です。「野村総合研究所跡地土地利用等基本構想」の趣旨に沿った無理の無い現実的なものかと思います。立地的には、利便性が劣りますが、あの深い緑の中に身を置く事は、そこで景観デザインの為に働く者だけでなく、これから建築・造成をしようとして相談に来る人にとっても、景観や環境についての思いを深めるチャンスを与えてくれるかもしれません。市役所前からバスに乗れる事から、申請業務に来る人にとっては、多少、便利かとは思いますが。この場合、近代美術館の様な観光のターミナルにはなりませんので、別途、駅周辺に景観デザインのプレゼンテーション・スペースが必要になるかもしれません。広大な土地は、各種建材のストックにも有効です。再生家具等の展示販売スペースとしても仕えると思います。全てを1ヶ所に集約するには、これ以上ないという程の好条件を備えた場所です。野村総合研究所自体が、日本に前例のない総合的な受託研究専門機関として創設されたということも何か因縁めいたものを感じます。

以上、勝手ながら、明るく素晴らしい、近年語られる事が無くなった様な未来のストーリーを創る上で、必要と考えるキーワードを、語らせて頂きました。

齊藤 亨